

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 43 号

第 43 週 (10月22日 ~ 10月28日)

発行年月日:平成19年(2007年) 11月 1日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

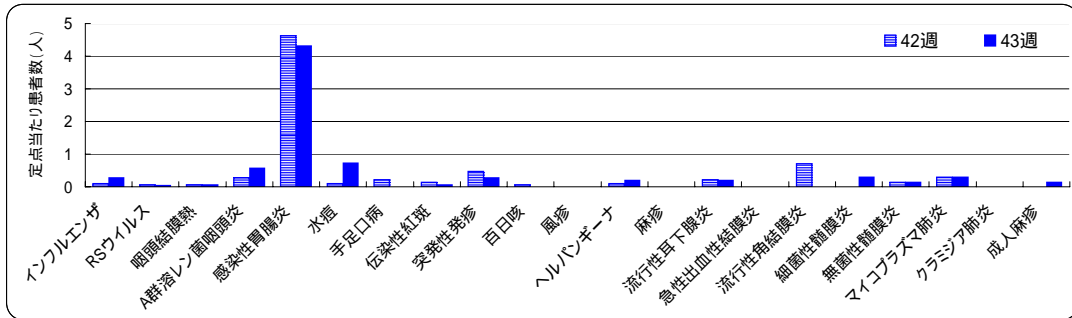
#### インフルエンザウイルスAソ連型の検出 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第41~43週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数とほぼ同じです。今週増加した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、ヘルパンギーナ、細菌性髄膜炎および成人麻疹で、その他の疾患は減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

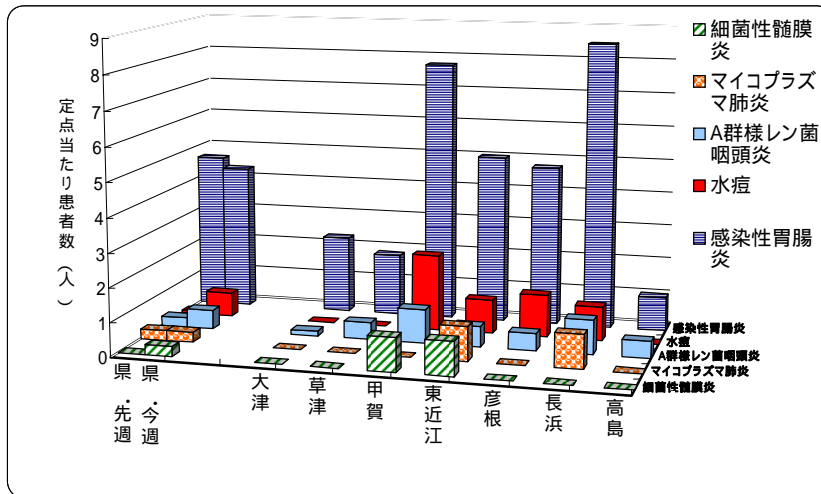
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で4名、四類感染症のA型肝炎で1名ならびに五類感染症のアメーバ赤痢で2名およびウイルス性肝炎で1名の届出がありました。

また、インフルエンザについては、平成19年10月17日に採取されたうがい液から**インフルエンザウイルスAソ連型**(インフルエンザAH1型)が検出されました。県内におけるインフルエンザウイルスAソ連型の検出は今回が初めてであり、今後、流行する可能性があるため感染予防に対する注意が必要です。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第43週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群様レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎および細菌性髄膜炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は甲賀および長浜でやや多くなっています。また、水痘は甲賀で急増しています。

#### インフルエンザに対する一般的な注意

1. 外出時には、**マスク**を使用しましょう。
2. 帰宅時には、**手洗いとうがい**を十分にしましょう。
3. **睡眠**を十分にとり、**栄養**のバランスに気を配りましょう。
4. 加湿器等で、室内を**適度な湿度**(50~60%)にしましょう。
5. **人混み**に出かけることをなるべく**避け**ましょう。
6. **早めに医療機関を受診**し、受診時にはマスクを着用しましょう。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (43週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (43週)	全国 (43週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	144	12,447	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	12	1	47
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 2	405	<sup>(*)3</sup> 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	4	51	4,139	54	3,910
	パラチフス	0	1	16	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	0	48	2	70
	A型肝炎	1	1	129	21	316
	デング熱	0	1	80	0	57
	マラリア	0	1	43	0	61
	レジオネラ症	0	6	530	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	2	11	639	8	738
	ウイルス性肝炎	1	2	193	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	117	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	84	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	7	1,199	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	43	1	87
	梅毒	0	1	574	4	625
	破傷風	0	0	78	1	115
	急性脳炎	0	2	191	1	160

\*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

\*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第43週(10/22～10/28) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 10例
二類感染症: 結核 284例	A型肝炎 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
三類感染症: 細菌性赤痢 8例	つつが虫病 2例	劇症型溶血性
コレラ 1例	日本紅斑熱 2例	レンサ球菌感染症 1例
腸管出血性	日本脳炎 2例	ウイルス性肝炎 2例
大腸菌感染症 102例	レジオネラ症 9例	破傷風 1例
腸チフス 1例	レプトスピラ症 3例	梅毒 5例
パラチフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 10例	急性脳炎 3例
四類感染症: デング熱 2例	ジアルジア症 1例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第38～43週、9/17～10/28)

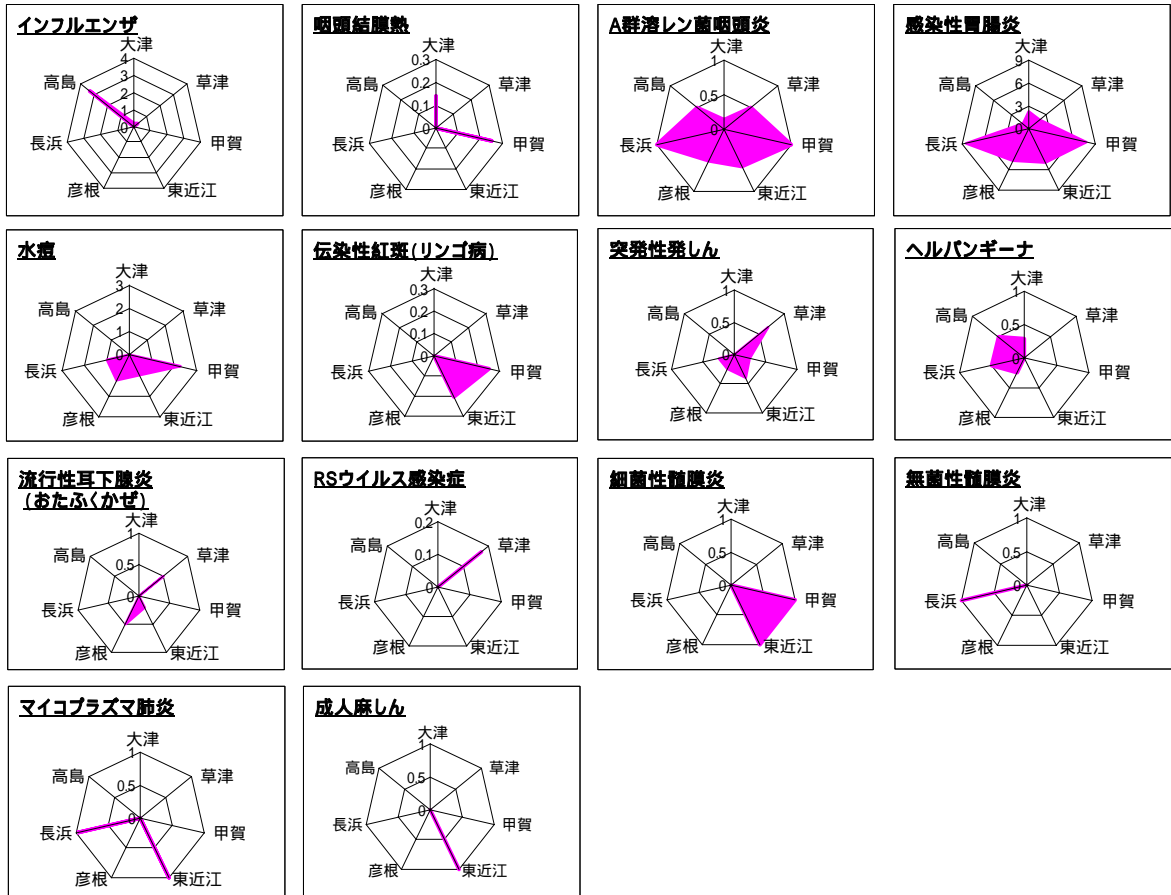
疾患名	定点当たり患者数						
	前週より増加		前週と同じ			前週より減少	
	38週 (9/17～)	39週 (9/24～)	40週 (10/1～)	41週 (10/8～)	42週 (10/15～)	43週 (10/22～)	週 39 40 41 42 43
インフルエンザ	0	0	0	0	0.09	0.28	
RSウイルス感染症	0	0	0.03	0	0.06	0.03	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.38	0.22	0.06	0.09	0.06	0.06	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	0.34	0.34	0.31	0.28	0.56	
感染性胃腸炎	4.16	4.63	4.72	3.88	4.63	4.31	
水痘	0.38	0.22	0.16	0.44	0.09	0.72	
手足口病	0.34	0.38	0.25	0.09	0.22	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.06	0.09	0.13	0.06	
突発性発しん	0.78	0.38	0.78	0.31	0.47	0.28	
百日咳	0	0	0.16	0	0.06	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0.03	0	0	
ヘルパンギーナ	0.44	0.31	0.38	0.06	0.09	0.19	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.44	0.31	0.16	0.22	0.19	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.43	0.71	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.29	
無菌性髄膜炎	0.14	0.29	0.14	0.71	0.14	0.14	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0	0.29	0.29	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0.14	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第43週, 10/22~10/28)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.28	0.18	0.30	0	0	0	0	3.33	
RSウイルス感染症	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.14	0	0.25	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.14	0.50	1.00	0.60	0.50	1.00	0.50	
感染性胃腸炎	4.31	2.29	1.83	7.75	5.00	4.75	8.50	1.00	
水痘	0.72	0	0	2.25	1.00	1.25	1.00	0	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.25	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.28	0	0.67	0.25	0.40	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.19	0.29	0	0	0	0.25	0.50	0.50	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0	0.50	0	0.20	0.50	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中    
 0 1 2 3 4 5  
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



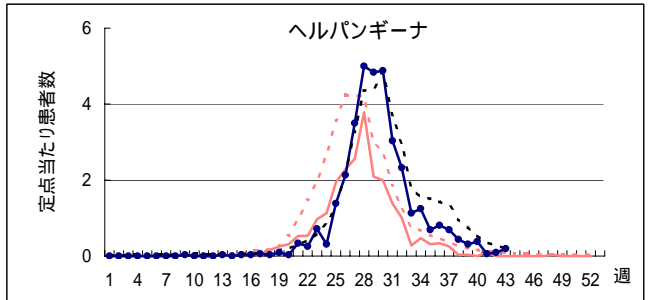
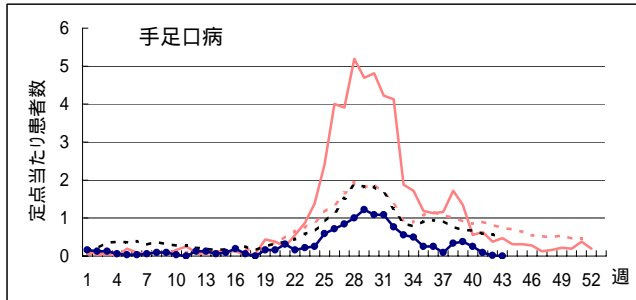
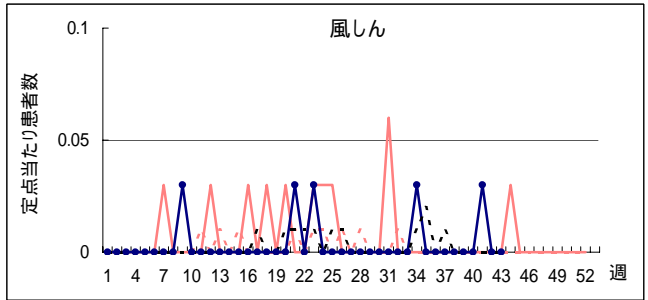
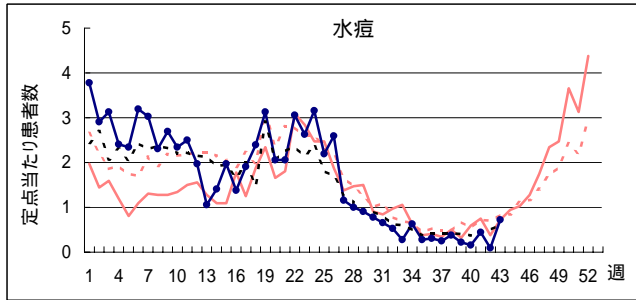
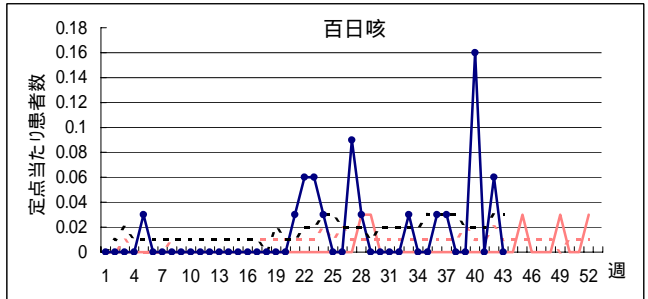
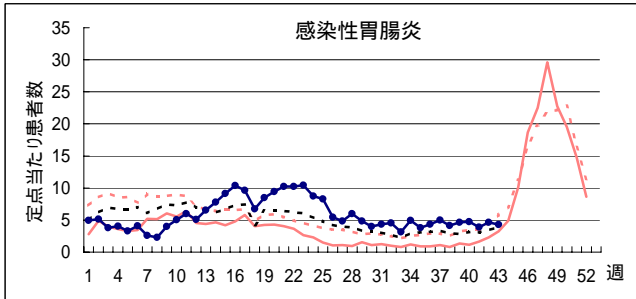
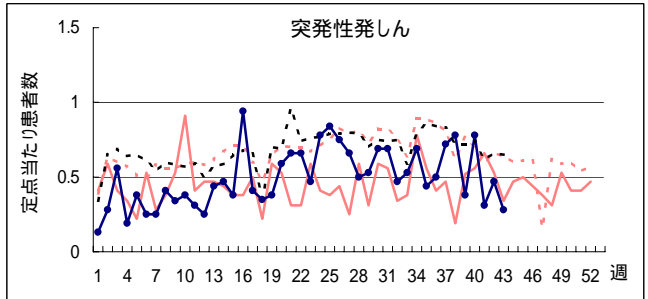
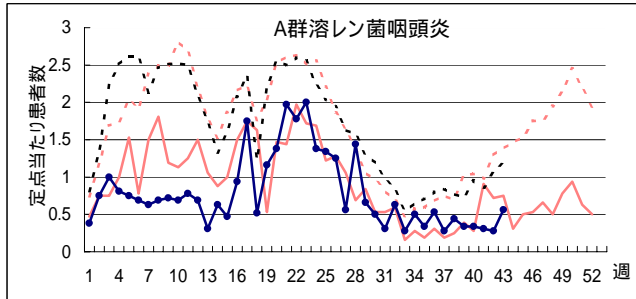
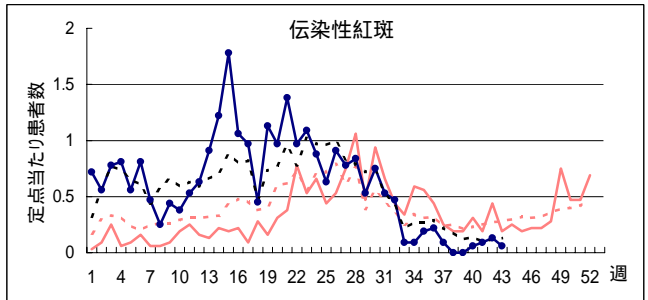
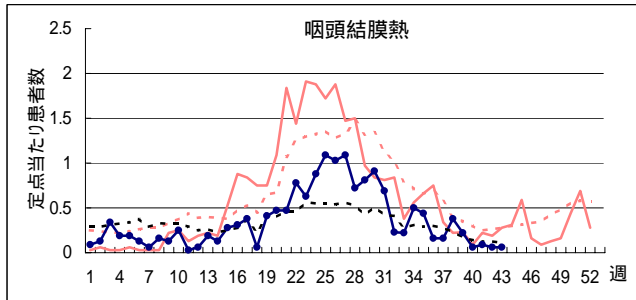
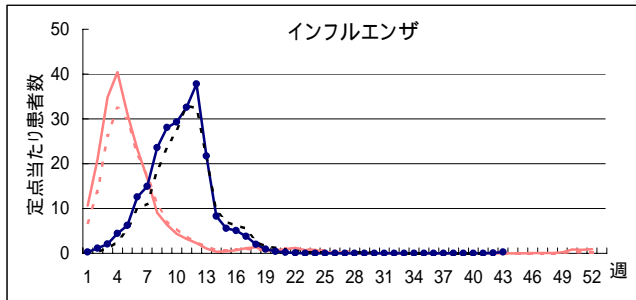
今週の発生状況:

- インフルエンザ-----大津、草津および高島からの報告があり、高島でやや多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 草津および東近江以外で先週より多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりやや減少していますが、彦根および長浜で増加しています。
- 水痘-----県全体では先週よりかなり増加し、特に甲賀で急増しています。
- 細菌性髄膜炎-----甲賀および東近江からの報告があり、B群レンサ球菌が検出されています。
- 成人麻疹-----東近江からの報告があり、年齢は15~19歳です。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第41~43週、10/8~10/28)

感染症類型	疾患名	1~40週の 累積報告数	41~43週の 報告年月日	概 要		
				菌種 血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・ 感染経路等
一類感染症	報告なし					
二類感染症	結核	130	H19.10.10	肺結核	日本国内	不明
			H19.10.11	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.11	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.12	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.12	肺結核	日本国内	不明
			H19.10.12	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.15	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.16	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.24	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.25	粟粒結核	日本国内	その他
			H19.10.25	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.15	結核性胸膜炎	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.19	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.26	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
三類感染症	細菌性赤痢 (~H19.3.31は二類感染症)	2 <sup>(*)</sup>	報告なし			
				(*)検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含む		
	パラチフス (~H19.3.31は二類感染症)	1	報告なし			
	腸管出血性大腸菌感染症	44	H19.10.9	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.12	血清型:O91 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.10.18	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.10.18	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
				* VT1:ペロ毒素1型 VT2:ペロ毒素2型		
四類感染症	A型肝炎	0	H19.10.26		日本国内	不明
	デング熱	1	報告なし			
	マラリア	1	報告なし			
	レジオネラ症	6	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	9	H19.7.24	腸管アメーバ症	日本国内	不明
			H19.7.26	腸管アメーバ症	日本国内	不明
	ウイルス性肝炎	1	H19.10.22	B型	日本国内	不明
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	7	報告なし			
	ジアルジア症	1	報告なし			
	梅毒	0	H19.10.17	晩期顕症梅毒	日本国内	異性間性的接触
	急性脳炎	2	報告なし			

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第43週、H19.1.1～H19.10.28)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第43週、H19.1.1～H19.10.28)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—●—  
     全国 - - - - -

